

# 行田市二十歳を祝う会実行委員会 二十歳の抱負

1月8日(日)、産業文化会館ホールで令和5年行田市二十歳を祝う会が開催されます。ここでは、この式典の企画を行ってきた実行委員に二十歳を迎えた心境や抱負などを語っていただきます。

# 令和5年 年頭のごあいさつ



## 大人になるということ

実行委員長 おがわ よしき 小川 祥輝さん

はじめに、二十歳という大きな節目を迎えることができたことに深く感謝するとともに、支えてくださった全ての皆様に感謝申し上げます。  
さて、私がまだ幼かった頃、「はやく大人になりたい」と思っていたのをよく覚えています。今思えば、たびたび失敗してしまう子どもの私と比較して、身近な大人は常に冷静で正しかったことから憧れを抱いていたのだと思います。けれど、私はその身近な大人に憧れを抱いたまま二十歳になってしまいました。

いつかなれるのだろうと思っていた「大人」にはなれないままです。  
しかし、最近あることに気付くことができました。それは、「大人」も不安だらけだということ。ただ、その不安を見せないように毅然と振る舞っていたということです。  
新型コロナウイルス感染症、紛争をはじめとする世界情勢、私生活のことなどで不安に押しつぶされそうになることもあります。そんなときは、あの頃に憧れを抱いた大人を思い出して、頑張ろうと思います。  
そして、いつか誰かの「大人」になり、次世代へバトンを繋げていけるような人生を歩んでいきたいです。  
結びになりますが、私たちの人生の節目となる式典を開催いただけることに感謝申し上げます。立派な大人になれるように努力してまいりますので、引き続きご指導のほど、よろしくお願いいたします。



## 新たな視点

副実行委員長 こいけ ゆうき 小池 優希さん

はじめに、私たちが二十歳としての大きな節目を迎え、祝福していただけることに深く感謝申し上げます。また、ずっとそばで支えてくださった家族をはじめ、地域の方々、先生方、そしてお互いに競い合い助け合った仲間感謝したいと思います。

さて、アフターコロナの世界はコロナ禍前に戻るのではなく、新しい世界へと変化しました。人との接触が制限されたことにより、対面ではなくZoomでオンライン交流を図るなど、コミュニケーションの方法も選択肢が増えました。従来どおりまたはそれ以上の効率を追求したからこそ、こうした変化が生まれたのだと思います。しかし、20年間の人生を振り返ると常に効率ばかりではなく、非効率の中で人として成長したことも多くあります。効率と非効率は両方とも大切です。これからもバランスを大切にしながら日々努力していきたいです。

また、私は、日本だけでなく、国外にも興味があります。自身の好きなこと、情熱を注げる場所がたくさんあると考えています。視野を広げるためにあらゆることに目を向け、挑戦し、壁に阻まれても乗り越えて成長する。そしていつか世界を引っ張る人になれるように精進していきます。

結びに、これまで支えてくださった皆様には20歳を迎えられたことに改めて感謝申し上げます。これから先、ご心配やご迷惑をお掛けすることもあるかもしれませんが、引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

新年明けましておめでとうございませす。市民の皆様におかれましては、輝かしい新年を健やかに迎えの心からお慶び申し上げます。  
昨年、長引く新型コロナウイルス感染症の感染拡大に加え、ロシアのウクライナ侵攻に端を発した原油価格や物価の高騰など、私たちの生活や地域経済も大きな影響を受けました。  
市では、抗原検査キットの無料配布やオミクロン株対応ワクチンの接種などの感染拡大防止に向けた取組を実施するとともに、プレミアム付商品券の発行やキャッシュレス決済によるポイント還元事業を実施し、「新しい生活様式」の促進と消費喚起を促すことにより、地域経済の活性化を図ってまいりました。今後も感染状況を注視しながら、感染防止対策と社会経済活動の両立を目指して、必要な対策を実施してまいります。  
私は、行政機関での勤務経験がない民間出身者として、市長就任以来、市民の皆様からの声を何より大切にするとともに、民間の感覚を存分に取り入れ、市政運営にあたってまいりました。地方自治体を取り巻く環境がより一層厳しさを増す中、行田市がさらなる発展を遂げるためには、行政の力だけではなく、市民の皆様、民間事業者の皆様とそれぞれが連携、協力し、将来を

見据えたまちづくりを進めていくことが必要不可欠です。  
民間の活力を絶え間なく市政に取り入れていくため、昨年4月に民間事業者の皆様からの事業連携の相談や提案を一元的に受け付ける「公民連携総合窓口 Corabo Gyoda (コラボギョウダ)」を設置しました。昨年は、6社と連携協定を締結し、民間事業者の皆様の見解、それぞれの持つ資源や特長を活かしながら、新たな事業や実践を実施しています。  
また、本年4月にさきたま古墳公園内にオープンを予定しているさきたまテラスは、観光庁の登録観光地域づくり法人(登録DMO)として登録された一般社団法人行田おもてなし観光局と協働を進めているところでもあります。他にも、忍城址を中心としたライトアップイベントの実施、花手Weekや行田はちまんマルシェの開催など、行田おもてなし観光局、地元商店、市民の皆様と連携して行っており、新たな観光資源の発掘やまちのにぎわい創出、行田市の魅力向上にもつながっております。  
私は、こうした民間の視点や感覚を取り入れながら、今後も引き続き、市が直面している課題の解決や改善、市民サービスの向上、市の魅力向上を図るとともに、市民の皆様には喜ばれるま



ちづくりに全力を挙げて取り組んでまいる所存です。市民の皆様には、どうか本年も市政に対するご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。  
結びに、本年が市民の皆様にとりまして、幸多きすばらしい年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。



行田市長 石井直彦